

# 2023年不動産フェア(令和5年度実施)アンケート集計結果について

(公社)愛媛県宅地建物取引業協会

■調査期間：令和5年9月～令和6年1月

■調査方法：不動産フェア会場来場者によるアンケート調査

■調査対象：地域 愛媛県内  
年齢 10歳以上  
性別 男・女

■有効回答者数：1,472件

■回答者内訳

◆性別/年代(人)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	全体
全体	37	141	303	299	274	250	168	1,472
男性	10	37	92	115	103	85	43	485
女性	27	104	211	184	171	165	125	987

アンケート回答者の年齢構成は、30代が最も多く、次いで40代となっており、10代が少なめではありますが、各世代ともにバランスよく構成されていて、不動産に何らかの関心が高まる年代の方の来場者が高かったものと推察します。

◆職業(人)

	会社員	会社役員	公務員	自営業	農林 水産業	賃貸業	主婦	無職	その他
全体	584	68	104	99	7	4	350	113	104
男性	232	53	62	62	7	2	0	35	15
女性	352	15	42	37	0	2	350	78	89

※未回答 39人

◆現在のお住まいの形態

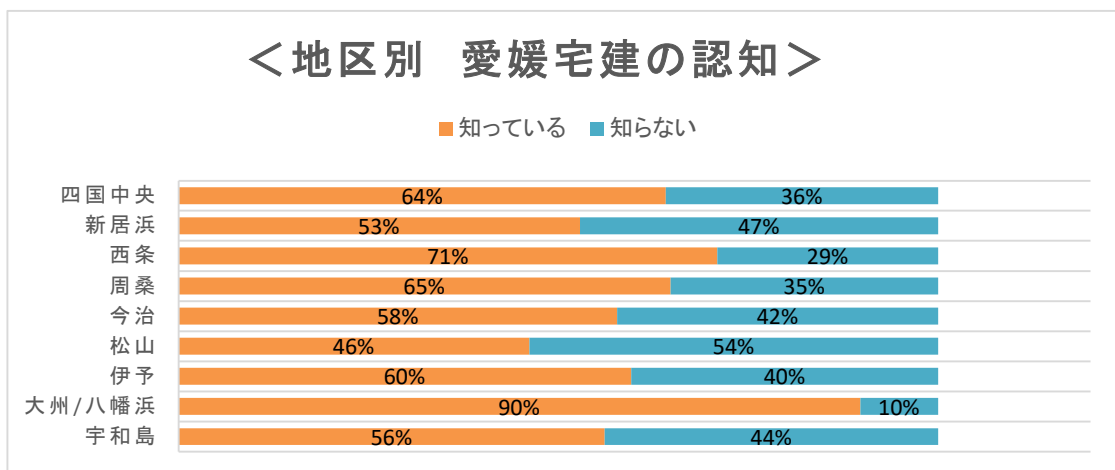
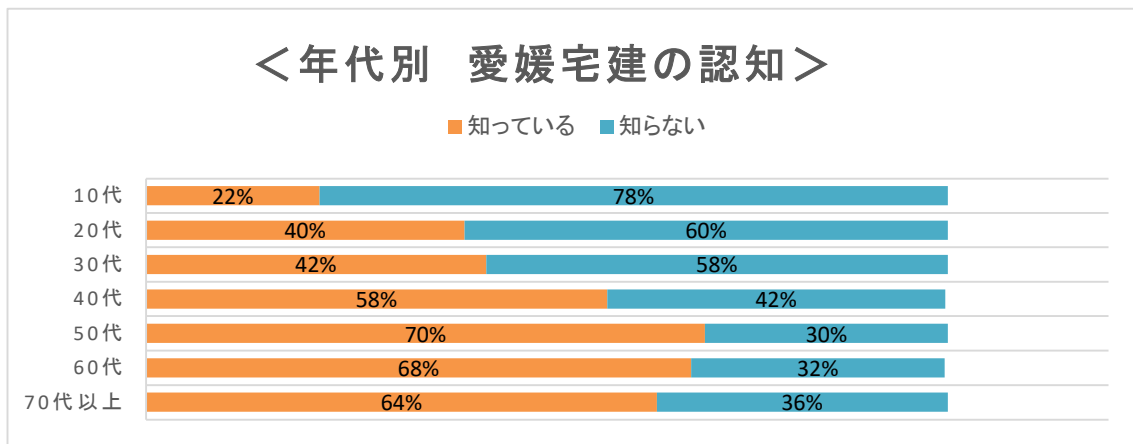
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
全体	37	141	303	299	274	251	168
持家	20	53	171	212	189	213	150
戸建借家	2	12	20	19	24	16	7
賃貸マンション・アパート	12	68	94	54	42	8	3
未回答	3	8	18	14	19	13	8

《調査結果》

Q1.私たち「宅建協会」（愛媛県宅地建物取引業協会）をご存知ですか？（1つ選択）

■ 「知っている」56.6% 「知らない」43.3% 「未回答」0.1%

- ◆ 宅建協会の認知については、「知っている」が56.6%で、約6割が認知していますが、前回に比べて認知率は上がっていません。
- ◆ 各地区では、若干の地域差が見受けられますが、平均して6割以上は認知されている中、松山地区では54%が知らないという結果になりました。



Q 2.当協会は9月23日を「不動産の日」としていますが、ご存知ですか？（1つ選択）

■ 「知っている」20.0% 「知らない」79.8% 「未回答」0.1%

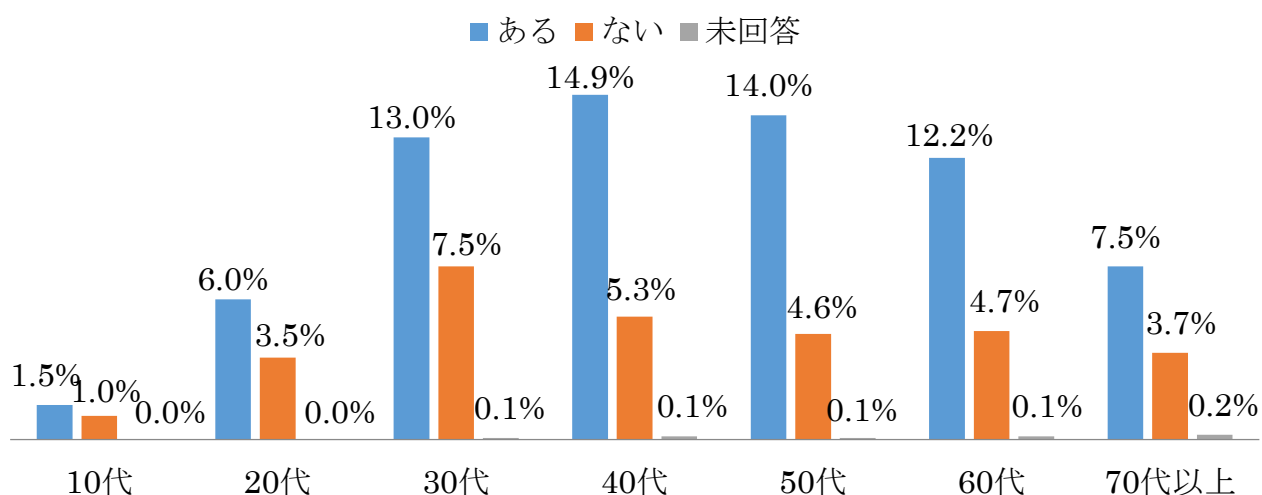
- ◆ 「不動産の日」は、上部団体である（公社）全国宅地建物取引業協会連合会（略称：全宅連 ぜんたくれん）が、9月23日を語呂合わせにより定めています。不動産フェアは、不動産の日を中心に一般消費者に対して、有益な情報を提供するために開催するものです。
- ◆ この数年、認知率が低下傾向にあり、その理由として開催日が9月23日以外の日が多くなっていることが大きく影響しているものと考えられます。

Q 3.宅地建物取引業協会会員のシンボルマーク「ハトマーク」をご覧になったことはありますか？（1つ選択） <前年比較>

■ 「ある」69.0% 「ない」30.2% 「未回答」0.01%

- ◆ ハトマークの認知については、「知っている」が69%で、前回より3%ダウンしました。
- ◆ 今後更に一般消費者の皆様に対し、我々の活動を含めてアピールしていく必要があると考えます。

③宅地建物取引業協会会員のシンボルマーク「ハトマーク」をご覧になった事がありますか？



Q 4.今までにハトマークの店をご利用されたことはありますか？（1つ選択）

■ 「ある」21.9% 「ない」77.4% 「未回答」1.6%

- ◆ ハトマークの店の利用は「ある」が21%で、前回より3ポイントアップしています。
- ◆ 「ハトマーク」を見たことがあると回答した方が69.1%いる一方で、「ハトマーク」の店を利用したことがあると回答した方が21%であるということは、「ハトマーク」の会員であるかどうかについては特に意識せず、宅建業者を利用されていることがうかがえます。

Q 5.ご自身が不動産業者を選ぶ際に、何に注目しますか？（複数回答可）

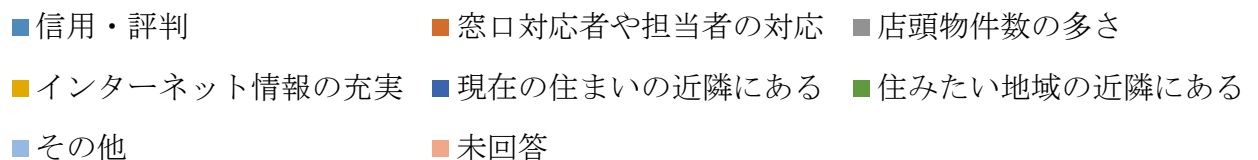
■ 「信用、評判」44.3% 「窓口対応者や担当者の対応」22.1%

「住みたい地域の近隣にある」9.2% 「現在の住まいの近隣にある」7.5%

「店頭物件の数」7.6% 「インターネット情報の充実」7.1% 「その他」0.8%

- ◆ 不動産業者を選ぶポイントについて、「信用、評判」が44%と最も多く挙げられ、次いで「窓口対応者や担当者の対応」となっています。安心して任せられる信用のある業者や担当者を重視していることが分かります。
- ◆ 「インターネット情報の充実」はすべての年代で前回よりも高くなっています。

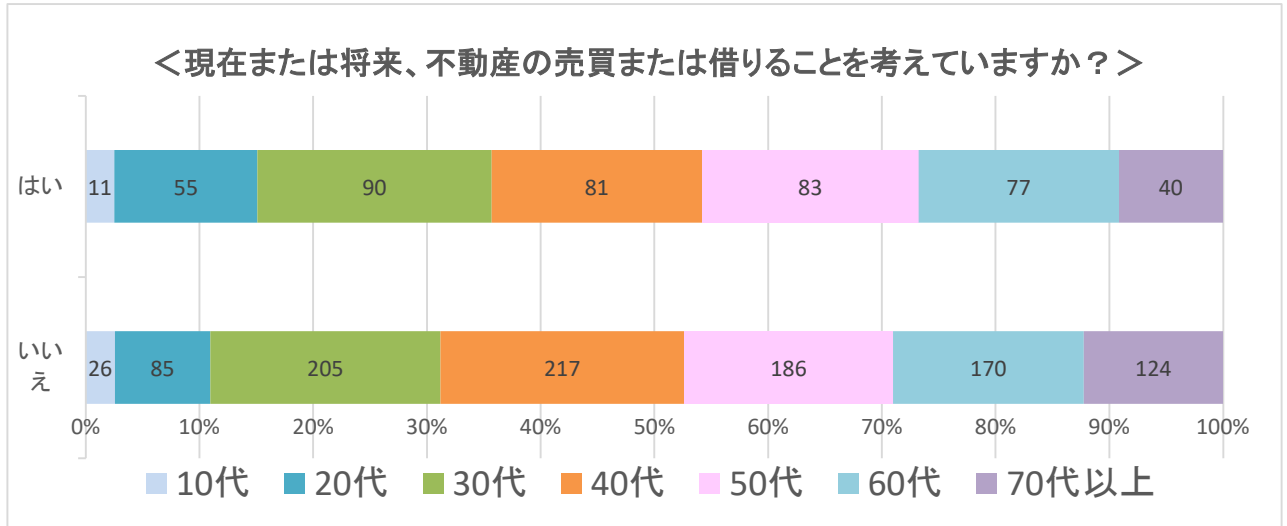
⑤ご自身が不動産業者を選ぶ際に、何に注目しますか？（複数回答）



Q 6. 現在または将来、不動産の売買または借りることを考えていますか？（1つ選択）

■ 「はい」29.7% 「いいえ」68.8% 「未回答」1.5%

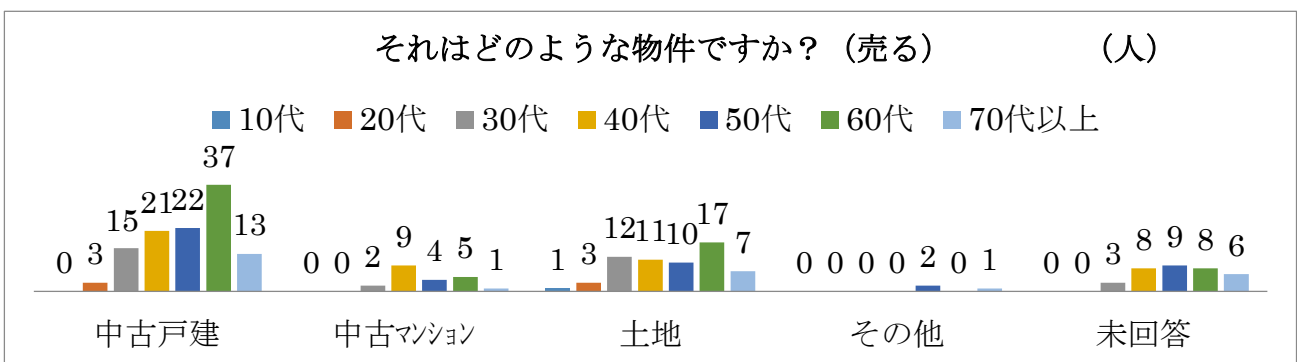
◆ 「はい」と回答された方のうち、40代が最も多く、次いで30代、50代が続いています。



◆ 「はい」と回答された方のうち、「売る」と回答された方は196人でした。中で最も多かったのは「中古戸建」111人（56%）で、次いで「土地」61人（31%）となっています。

◆ 「中古戸建」の売却と「土地」の売却を考えている年代は、60代が最も多く、また50代、60代が占める割合が全体の半数を占めています。

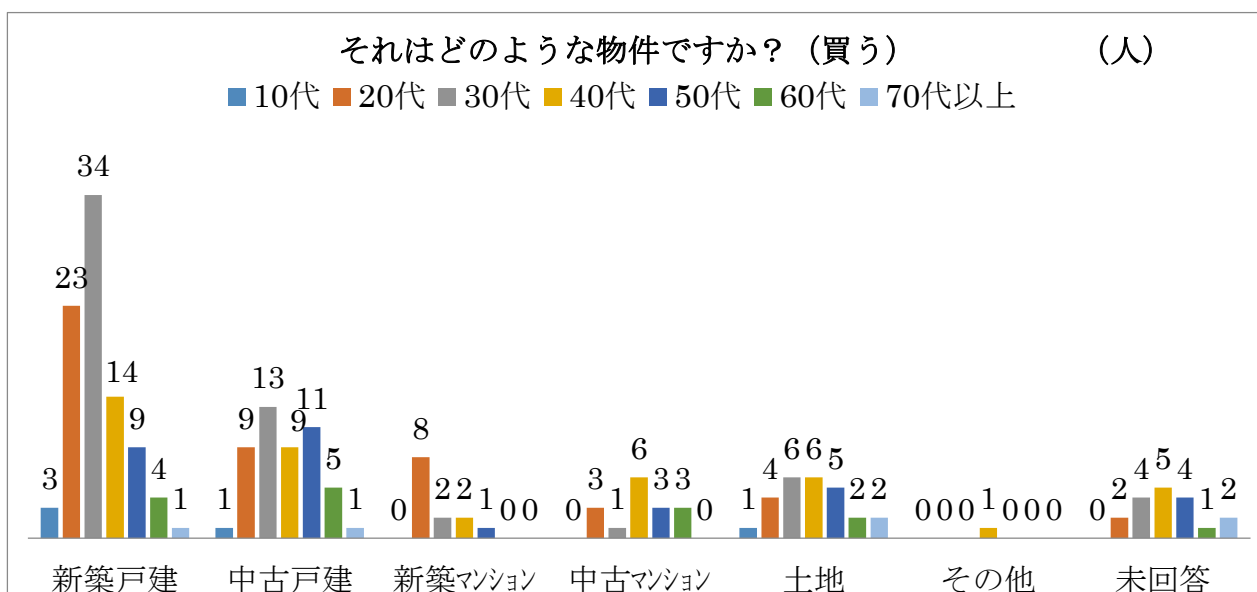
【売る】	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
中古戸建	0	3	15	21	22	37	13	111
中古マンション	0	0	2	9	4	5	1	21
土地	1	3	12	11	10	17	7	61
その他	0	0	0	0	2	0	1	3
未回答	0	0	3	8	9	8	6	34



- ◆ 「買う」と回答された方は193人で、最も多かったのは、「新築戸建」が88人（45%）次いで「中古戸建」で49人（25%）となりました。
- ◆ 今年度の調査においても30代の新築戸建への需要が高くなっています。
- ◆ 30代は結婚や出産を経験する人が多く、賃貸住まいから一戸建ての購入を考える人が多い年代です。マンションに比べて一戸建ては独身で購入する人が少なく、また、30代は20代よりも勤務先や収入、家族構成が固まってくる時期であるため、一戸建ての購入を検討する最初のタイミングとなる人が多いように思われます。

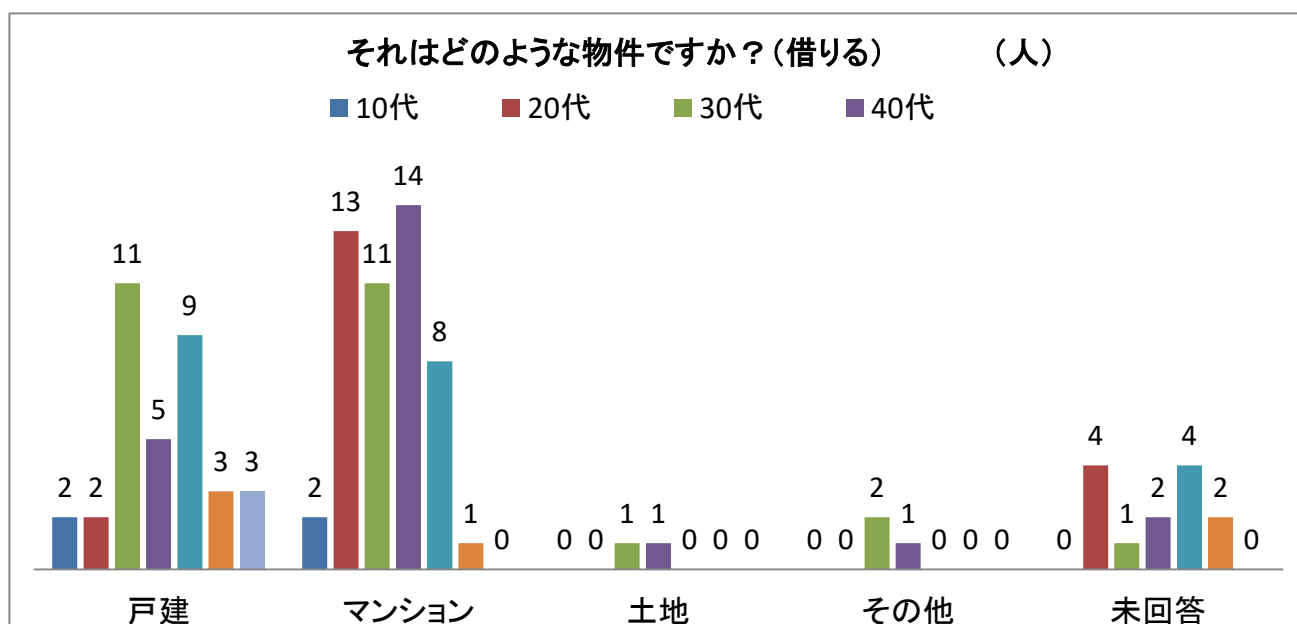
【買う】	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
新築戸建	3	23	34	14	9	4	1	88
中古戸建	1	9	13	9	11	5	1	49
新築マンション	0	8	2	2	1	0	0	13
中古マンション	0	3	1	6	3	3	0	16
土地	1	4	6	6	5	2	2	26
その他	0	0	0	1	0	0	0	1
未回答	0	2	4	5	4	1	2	18

- ◆ 30代から40代で新築戸建てが多い理由としては、40代で結婚して所帯を持つケースが増えてきたことや、30代までに住宅取得資金を準備した後に購入をする人が増えてきたのではないかと思います。
- ◆ また、ライフステージの変化を見据えて資金力のあるうちに住み替えを検討される方も増えているのではないかと思います。



- ◆ 「借りる」と回答された方で最も多かったのは、「マンション」で49名（55%）、次いで「戸建」で35名（39%）となりました。
- ◆ 若年層ほど「マンション」を選択されているのは、勤務場所や家族構成の変化により将来引越す可能性が高いと考えられている方が多いのではないかと考えます。

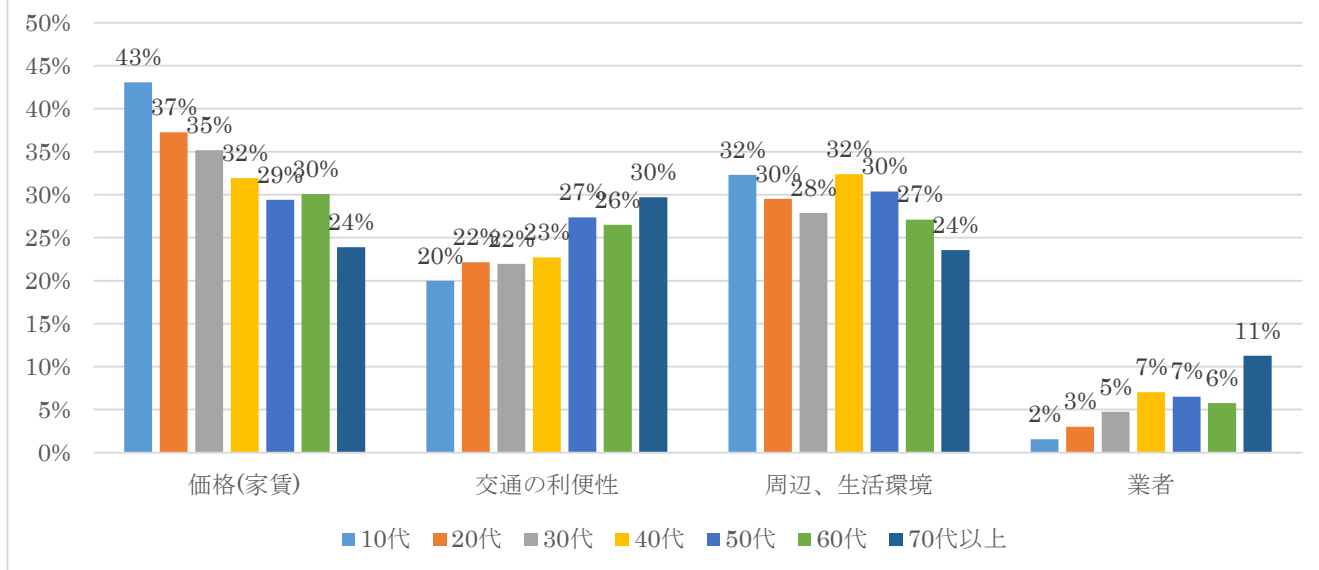
【借りる】	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
戸建	2	2	11	5	9	3	3	35
マンション	2	13	11	14	8	1	0	49
土地	0	0	1	1	0	0	0	2
その他	0	0	2	1	0	0	0	3
未回答	0	4	1	2	4	2	0	13



Q7.物件を探す際、重視する点は？（複数回答可）

- 「価格(家賃)」31.8% 「周辺、生活環境」29.0% 「交通の利便性」24.6%
- ◆ いずれの年代でも「価格(家賃)」「周辺、生活環境」への関心が高い結果となりました。
- ◆ 「交通の利便性」は、高年齢ほど重視する傾向が強く、若年層ほど「価格(家賃)」を重視する傾向が強いなど、年代によって意識差が見受けられました。

### ⑦物件を探す際、重視する点は？（複数回答）



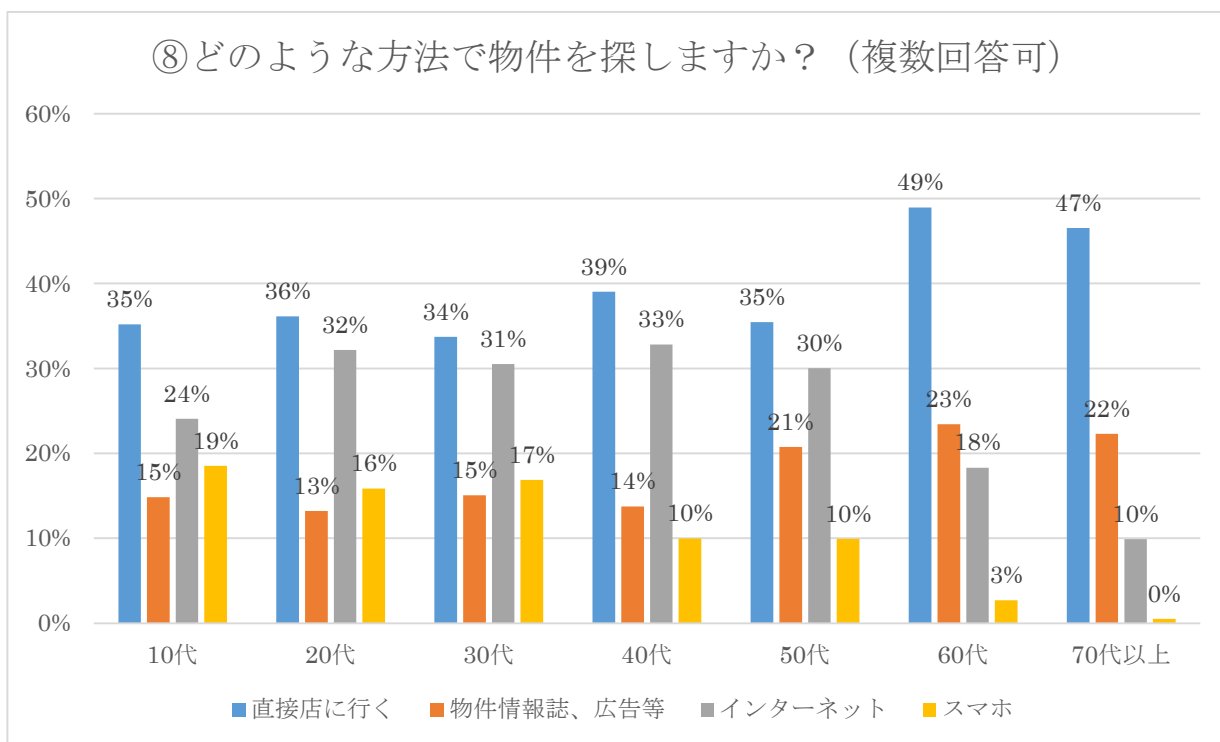
### Q 8.どのような方法で物件を探しますか？（複数回答可）

- 「直接店に行く」38.9% 「インターネット」27.2% 「スマホ」10.4%  
「物件情報誌、広告等」17.7%

- ◆ 物件情報入手経路については、「直接店に行く」が前回に比べ2%ダウンしました。
- ◆ インターネットの普及にともない、インターネットやスマホを利用する人が増加しています。
- ◆ 設問5で不動産業者を選ぶ際に重要視している項目の結果において、地元業者に相談するという結果が高いことから愛媛県においては直接店舗へ出向いて情報収集されている方が多いとみられます。
- ◆ 「インターネット」「スマホ」は若年層ほど高く、「物件情報誌、広告等」では、高年齢層ほど高い傾向が見受けられ、年代により利用する情報入手媒体に差異が見られました。これは、全国的にも同じ傾向となっています。



⑧どのような方法で物件を探しますか？（複数回答可）



Q9.インターネットのハトマークサイトを見たことがありますか？（1つ選択）

■ 「ある」21.5% 「ない」74.2% 「未回答」4.3%

- ◆ 前回に引き続き、ハトマークサイトを見たことがないという方が8割近い結果となりました。
- ◆ 設問4の今までにハトマークの店を利用したことがあるかどうかの質問に対して、「ある」が21.9%、「ない」が77.4%であったことから、ハトマーク並びにハトマークサイトの認知度が低いと考えられ、認知度を高めていく必要があります。